

Business Report

[第88期 報告書]

2016.4.1-2017.3.31

P.01-04 トップインタビュー

2017年3月期決算は前期比 増収増益。
グループ全体で真摯に中期経営計画に取り組み
継続的かつ安定的な成長を実現しています。

P.05-06 トピックス

P.07-08 連結財務情報

P.09-10 知っておきたい豆知識・会社概要

すべてはホスピタリティから。



2017年3月期決算は前期比 増収増益。 グループ全体で真摯に中期経営計画に取り組み 継続的かつ安定的な成長を実現しています。

代表取締役社長 野呂 裕一



「葬儀事業の積極的なエリア拡大」および 「基盤整備の完遂」が中期的な成長を牽引

当社グループは「中期経営計画(2016年度～2018年度)」初年度にあたる2017年3月期決算を前期比 増収増益で終えました。公益社における大規模葬儀の件数は減少したものの、公益社首都圏における一般葬儀の件数増が大きく貢献し、葬仙およびタリイにおいても葬儀施行件数が増加し、さらに葬祭3社ともに葬儀後のサポート(ライフエンディングサポート)事業が好調に推移し業績に貢献いたしました。経常利益は過去最高となり、これまで進めてきたBPR(全体最適をめざす業務改革)の推進や資産の有効活用等、利益構造の改善が功を奏したものと捉えています。

ここで改めて中期経営計画で掲げた重点課題を中心に、1年間実施してきた施策の主な成果についてご報告いたします。

まずは2016年5月に「公益社 くずは会館」(大阪府枚方市)および「公益社 武庫之荘会館」(兵庫県尼崎市)を、9月に「公益社 喜多見会館」(東京都世田谷区)、そして2017年1月に「タライ会館 西明石」(兵庫県明石市)、2月に「公益社 甲子園口会館」(兵庫県西宮市)、3月に「公益社 千里山田会館」(大阪府吹田市)と1年間で6会館をオープン。これは2018年度までの3年間グループ全体で17会館のオープンを目指す中期経営計画において大きな成果であると言えます。

当社グループの強みであるこれまでの知見とナレッジの蓄積をもとに既存会館の周辺に低投資多店舗展開しており、営業エリアの拡大は加速化しています。来たる8月には首都圏において「公益社 東久留米会館」(東京都東久留米市)のオープンを予定しております。

そして「基盤整備の完遂」として掲げた、築年数の経過した大規模会館の建替え計画については、2016年8月に「公益社 西宮山手会館」(兵庫県西宮市)の建替えオープンを終え、2017年8月予定の「公益社 枚方会館」(大阪府枚方市)建替えオープンをもって完了いたします。

もう一つの基盤整備として掲げた葬仙およびタライの収益力の改善については、葬儀施行件数の増加、葬儀単価の上昇により、2016年度の業績は両社ともに前期比増収増益となりました。

葬仙は、中核会館である「葬仙 米子葬祭会館」(鳥取県米子市)を2016年8月に全面改装オープンし、改装工事に伴う4ヵ月間の休館の影響を吸収し、葬儀施行件数は増加しました。米子地区においては今後さらに件数を伸ばしていくものと考えております。

タライは、2016年7月に「タライ会館 大蔵谷」(兵庫県明石市)を隣接地に新築リニューアルオープンしました。2015年度に実施した基本セットプランの改定、以降のマーケティングの強化が功を奏し、葬儀施行件数が増加しました。

ライフエンディングサポート事業で 他社との差別化を促進

長年、中核事業である葬祭業で接するご遺族のために何かできないかと追求していくなかで、当社グループでは2016年度より積極的にお客様のニーズから新たなサービスの取り扱いを開始いたしました。実際の提供の機会は少ないと思われるニーズにも対応することでサービスメニューを充実・拡大しております。

「ライフエンディングサポート事業」として展開するこれらのサービスは、葬儀後の諸手続きや相続相談、仏壇仏具の手配、墓地・霊園・納骨堂のご相談など多岐にわたっており、加えて2016年4月には家系図の作成、2016年7月にはデジタル遺品サポートと、新たなサービスもスタートしています。

当社グループ葬祭3社において、お客様のあらゆるニーズに対応できる体制が整っていることは同業他社との差別化にもなっています。業績においても今後伸びていく事業であると考えており、さらに力を入れていく所存です。

ブランド力の向上と 競争優位性の保持に取り組む

当社グループの差別化要因は、サービス品質の高さにあると考えております。そのサービス品質を維持・向上させるため、2016年度から「サービス品質向上への体制強化と仕組みの構築」に取り組んでおります。

低価格を打ち出した安易なサービスが多くみられる中、何よりもクオリティを重視し、常にサービス品質を向上させるための取り組みを実施しています。最近では、担当者へのメッセージのみならずスタッフ全員、さらには会社への高評価のメッセージが増えていることから、成果の程を窺うことができ、嬉しいかぎりです。

時代のニーズに応えるとともに地域社会への 貢献を考え介護事業への参入を決定

重点課題の一つ「新規事業創出への本格的取組み」についても大きな動きがありました。グループの事業ポートフォリオのリスクを軽減し、中長期的に継続安定成長を実現する目的で

2016年度はじめに「新規事業開発部」を燦ホールディングスに設置。2016年10月には、グループ会社であるエクセル・サポート・サービスの飲食事業の多角化としてラーメン店の直営事業をスタートさせました。

日本料理を基軸としたラーメンを開発し、2016年10月に「うまい麺には福来たる」西大橋店（大阪市西区）、12月に西中島店（大阪市淀川区）をオープン。いずれも多くのお客様にご来店いただき売上高は順調に推移していますが、収益向上のため、2017年度上期は両店における商品の改善・開発、オペレーションの効率化とコストコントロールの改善等を行い、下期より3号店以降の出店を実施していく予定です。

さらにこの度、人生の希望や豊かさを感じられるシニアライフをサポートするために介護事業への参入を決定いたしました。

近年ますます加速する高齢化に伴い、通所介護、いわゆるデイサービスの事業所数は小規模型を中心に増加しています。しかしながら、これらは利用者の居場所づくりにとどまっている場合が多く、通所することで利用者の要介護度が重度化することがあることから、機能回復に効果的なサービスプログラムを提供する「リハビリ特化型デイサービス」のニーズが高まっています。

介護事業参入の背景にはこうした時代のニーズに応えたいという思いに加え、地域社会の一員としての自覚を持って地域社会への貢献を考えた事業運営を行いたいとの思いがありました。

2017年3月23日、当社グループ会社であるエクセル・サポート・サービスはJR西日本グループのポシブル医科学株式会社様とフランチャイズチェーン加盟契約の締結に関して基本合意を行いました。今後、このフランチャイズシステムのノウハウに、既存の経営資源を組み合わせることで有効活用し、2017年10月から12月の間に大阪府北部地域および阪神地域の2カ所で「ポシブル」ブランドのもと「リハビリ特化型デイサービス」事業所の開設、運営を行っていく予定です。こちらの事業においても、まずは規模の拡大よりも人の採用や教育など、サービスのクオリティに直接かかわる部分を大切にまいります。

将来に向けての投資と株主様への 還元のバランスをとりつつ 継続的かつ安定的な成長を追求

中期経営計画1年目は当初予定していた施策を着実に進めることができました。現状の課題として、公益社関西圏における既存の一部エリアにおけるシェア低下への対処が挙げられます。効果的なマーケティング施策を講じながら、既存エリアにおける葬儀施行件数を伸ばしていくとともに、新規出店に関わる設備投資および人的投資を進めてまいります。また、新規事業は複数の事業候補について今後も調査・検討を進めてまいります。

中長期にみて継続的かつ安定的な成長を追求し、将来への必要な投資を引き続き実施していく方針です。

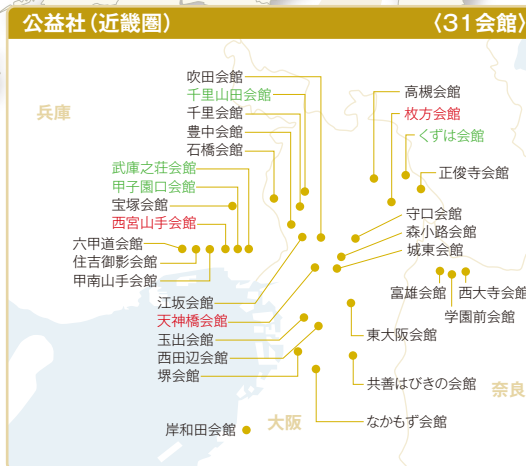
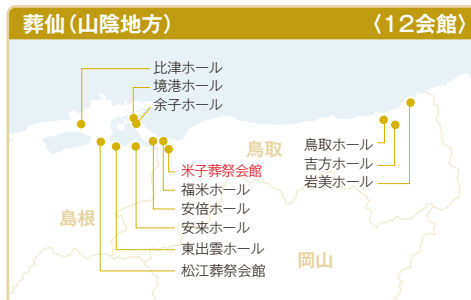
株主の皆様に対する還元方針としては、増配も考慮に入れつつ安定配当を行ってまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

燦ホールディングスグループの
エクセル・サポート・サービス(株)が
JR西日本グループのポシブル医科学(株)と
フランチャイズチェーン加盟契約の
締結に関して基本合意【2017年3月23日】



グループ葬祭3社 施設ネットワーク 2017(平成29)年6月30日現在 全63会館

当社グループは、現在63会館を展開しております。2016年度中に合計6会館を開設し、当社グループの営業エリアの拡大は加速しています。また、2014年から着手した築年数の経過した大規模会館のリニューアルも進み、2017年度中に完遂予定です。



公益社 千里山田会館
[2017年3月オープン]



公益社 甲子園口会館
[2017年2月オープン]

2017年に入り、 すでに3会館が新設オープンいたしました。

2017年1月30日に「タルイ会館 西明石」、2月20日に「公益社 甲子園口会館」、3月13日に「公益社 千里山田会館」を新設オープンいたしました。

家族葬から一般的なご葬儀まで、規模や宗教を問わず、ご希望にそったお別れを実現し、大切なひとのかけがえのない時間を「ともに過ごす」ことができる空間です。

公益社（首都圏）（10会館）



公益社 喜多見会館
[2016年9月オープン]



公益社 枚方会館
[2017年8月新築リニューアルオープン予定]



公益社 西宮山手会館
[2016年8月新築リニューアルオープン]



公益社 天神橋会館
[2015年6月新築リニューアルオープン]



公益社 くずは会館
[2016年5月オープン]



公益社 武庫之荘会館
[2016年5月オープン]

タルイ会館 西明石 明石市松の内2-5-5 JR山陽本線「西明石」駅 東口北出口より徒歩約3分



式場



安置室



親族控室

公益社 甲子園口会館 西宮市中島町16-15 JR神戸線「甲子園口」駅 北西へ徒歩約12分



式場



安置室



親族控室

公益社 千里山田会館 吹田市津雲台7-6-1 阪急千里線及び大阪モノレール「山田」駅 西へ徒歩約10分



式場



安置室



親族控室

連結財務情報

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
〔資産の部〕		
流動資産	4,063	3,908
● 現金及び預金	2,831	2,612
営業未収入金	568	601
商品及び製品	111	94
繰延税金資産	289	230
その他	263	368
固定資産	22,979	24,052
● 有形固定資産	20,509	21,809
建物及び構築物	7,375	8,451
土地	12,131	12,318
建設仮勘定	611	520
その他	389	518
無形固定資産	139	122
投資その他の資産	2,330	2,121
資産合計	27,042	27,961

現金及び預金

新規会館用地の取得および既存会館のリニューアル投資等の資金需要は内部資金で対応、現金及び預金が2億18百万円減少。

有形固定資産

減価償却が進行(8億97百万円)した一方、会館の新設オープン(6会館)およびリニューアルオープン(3会館)、さらに今後の新設オープン予定の資産取得等により、有形固定資産が13億円増加。

純資産

当期純利益の計上13億45百万円、剰余金の配当2億38百万円により、11億6百万円増加。自己資本比率は82.1%(前連結会計年度末に比べ1.3ポイント増)。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
〔負債の部〕		
流動負債	2,650	2,289
営業未払金	781	810
短期借入金	15	15
1年内返済予定の長期借入金	128	21
未払金	509	418
賞与引当金	428	401
その他	787	622
固定負債	2,555	2,727
長期借入金	1,051	1,115
厚生年金基金解散損失引当金	690	690
その他	812	921
負債合計	5,205	5,017
〔純資産の部〕		
株主資本	21,837	22,943
資本金	2,568	2,568
資本剰余金	5,488	5,488
利益剰余金	14,793	15,900
自己株式	△ 1,013	△ 1,013
● 純資産合計	21,837	22,943
負債純資産合計	27,042	27,961

営業収益

公益社においては、大規模葬儀の件数が減少したため、首都圏の一般葬儀の件数は増加したものの、前期比0.3%減収。葬仙は葬儀件数の増加および葬儀単価の上昇により前期比7.8%増収。タルイは葬儀件数の増加および葬儀単価の上昇により前期比8.3%増収。この結果、営業収益は前期比0.9%増収。

営業利益・経常利益

増収に伴い直接費が増加、新規会館出店等に伴い広告宣伝費および消耗備品費等は増加。一方、新築リニューアルに伴う減価償却費は減少、大阪本社移転集約に伴い地代家賃も減少。この結果、営業利益は前期比16.1%増、経常利益は前期比18.5%増。売上高経常利益率は11.1%。

特別損失・当期純利益

特別損失は前期に計上した厚生年金基金解散損失引当金繰入額6億90百万円の計上がなくなり、前期比8億49百万円減少。当期純利益は前期比9億77百万円増(前期比265.4%増)。

Consolidated Financial Highlights

連結業績の推移

第2四半期 期末

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 〔平成27年4月1日～ 平成28年3月31日〕	当連結会計年度 〔平成28年4月1日～ 平成29年3月31日〕
● 営業収益	18,509	18,677
● 営業費用	15,324	15,296
● 営業総利益	3,185	3,380
● 販売費及び一般管理費	1,446	1,361
● 営業利益	1,739	2,019
● 営業外収益	34	90
● 営業外費用	30	45
● 経常利益	1,742	2,064
● 特別利益	0	5
● 特別損失	892	42
● 税金等調整前当期純利益	850	2,027
● 法人税、住民税及び事業税	747	590
● 法人税等調整額	△ 265	91
● 親会社株主に帰属する当期純利益	368	1,345

連結キャッシュ・フロー計算書

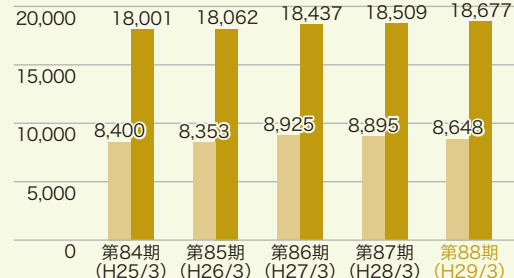
(単位:百万円)

	前連結会計年度 〔平成27年4月1日～ 平成28年3月31日〕	当連結会計年度 〔平成28年4月1日～ 平成29年3月31日〕
● 営業活動による キャッシュ・フロー	2,002	2,242
● 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,446	△ 2,096
● 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 485	△ 364
● 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 929	△ 218
● 現金及び現金同等物の 期首残高	3,760	2,831
● 現金及び現金同等物の 期末残高	2,831	2,612

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

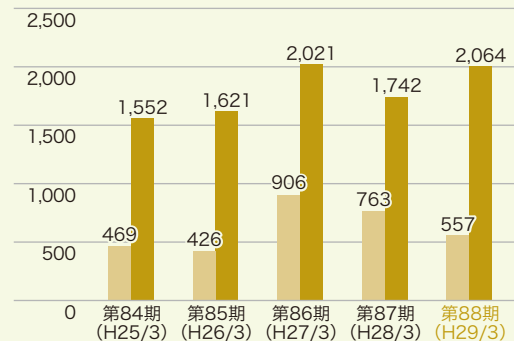
営業収益

(単位:百万円)



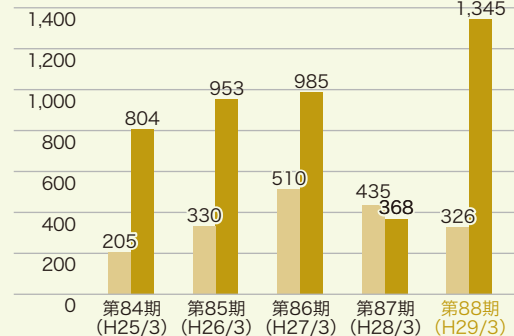
経常利益

(単位:百万円)



四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

知っておきたい豆知識 vol.13

遺影写真の準備の仕方について

お葬式では故人の遺影写真を祭壇に飾ったり、火葬場に持参したりします。場合によっては新聞紙1ページ分よりも大きく引き延ばします。そのため元の写真が小さくてピントがぼけていると引き延ばした際、にじんだようになって美しくありません。写真を選ぶ際の条件は大きく写っていてピントが揃っていることです。この条件を満たしているなら、

スナップ写真でもデジタルカメラの画像でも構いません。

公益社では定期的に葬儀会館の見学会を行っています。その際いろいろなイベントを開催するのですが、最も人気があるのが遺影写真の撮影会です。参加者はプロのカメラマンに写真を撮ってもらいます。こちらは男女問わず人気があります。



プロのカメラマンによる写真撮影会
(公益社各会館イベントにて実施)

公益社で提供しているバインダー式のオリジナルのエンディングノート「私の人生アルバム」には、遺影写真として使ってほしい写真を入れておくポケットが付いています。お気に入りの遺影写真がもし決まっているなら、家族に分かるように保存しておいてはいかがでしょうか。

[葬祭施設ネットワーク] 2017(平成29)年6月30日現在

公益社
(首都圏)

ご葬儀相談
センター
0120-347-556

公益社 用賀会館 東京都世田谷区瀬田3-6-8
公益社 高円寺会館 東京都杉並区高円寺北2-2-5
公益社 明大前会館 東京都杉並区和泉2-8-6
公益社 仙川会館 東京都調布市仙川町3-1-3
公益社 喜多見会館 東京都世田谷区喜多見7-25-13
公益社 田園調布会館 東京都世田谷区東玉川2-30-9
公益社 雪谷会館 東京都大田区南雪谷2-1-7
公益社 高輪会館 東京都港区高輪2-16-13 道往寺内
公益社 会館 たまプラーザ 横浜市青葉区美しが丘2-21-4
公益社 日吉会館 横浜市港北区箕輪町2-2-15

公益社
(近畿圏)

ご葬儀相談
センター
0120-567-701

公益社 天神橋会館 大阪市北区天神橋4-6-42
公益社 森小路会館 大阪市旭区今市2-22-7
公益社 城東会館 大阪市城東区関目1-21-20
公益社 西田辺会館 大阪市阿倍野区阪南町5-16-1
公益社 玉出会館 大阪市西成区玉出西1-3-4
公益社 豊中会館 豊中市南桜塚1-21-4
公益社 石橋会館 池田市井口堂1-12-6
公益社 吹田会館 吹田市内本町1-21-3
公益社 江坂会館 吹田市豊津町16-13
公益社 千里会館 吹田市桃山台5-3-10
公益社 千里山田会館 吹田市津雲台7-6-1 **New**
公益社 高槻会館 高槻市野見町4-4
公益社 守口会館 守口市大町3-4-28
公益社 枚方会館 枚方市山之上東町1-1
公益社 正徳寺会館 枚方市長尾宮前2-2-1
公益社 くずは会館 枚方市楠葉並木2-13-11
公益社 東大阪会館 大阪大阪市徳庵町1-6-28
公益社 共善はびきの会館 羽曳野市恵我之荘3-4-25
公益社 堺会館 堺市堺区宿屋町西1丁1-27
公益社 なかもず会館 堺市北区中百舌鳥町2丁322-1
公益社 岸和田会館 岸和田市上野町東5-1
公益社 西大寺会館 奈良市二条町1-1-10
公益社 学園前会館 奈良市学園大和町2-110-3



葬 仙
(山陰地方)

0120-444-200



公益社 富雄会館 六甲道会館
公益社 甲南山手会館
公益社 住吉御影会館
公益社 武庫之荘会館
公益社 西宮山手会館
公益社 甲子園口会館
公益社 宝塚会館

奈良市富雄北1-7-7
神戸市灘区徳井町5-1-5
神戸市東灘区本庄町2-13-20
神戸市東灘区住吉宮町7-3-8
尼崎市水堂町3-18-21
西宮市城ヶ堀町1-40
西宮市中島町16-15 **New**
宝塚市小浜2-2-63

葬 仙 鳥取ホール 鳥取県鳥取市商栄町171
葬 仙 吉方ホール 鳥取県鳥取市吉方153-7
葬 仙 岩美ホール 鳥取県岩美郡岩美町浦富645-9
葬 仙 米子葬祭会館 鳥取県米子市長砂町1075
葬 仙 安倍ホール 鳥取県米子市安倍51
葬 仙 福米ホール 鳥取県米子市新開6-3-15
葬 仙 境港ホール 鳥取県境港市上道町3588
葬 仙 余子ホール 鳥取県境港市竹内町1864-2
葬 仙 安来ホール 鳥取県安来市安来町977
葬 仙 松江葬祭会館 鳥取県松江市東津田町1738
葬 仙 比津ホール 鳥取県松江市比津町31
葬 仙 東出雲ホール 鳥取県松江市東出雲町錦浜583-23

タルイ
(兵庫県南部)

0120-365-365



タルイ会館 神戸西
タルイ会館 舞子
タルイ会館 大蔵谷
タルイ会館 新明
タルイ会館 西明石
タルイ会館 大久保
タルイ会館 長坂寺
タルイ会館 魚住
タルイ会館 土山
タルイ会館 東加古川

神戸市西区玉津町出合213-1
神戸市垂水区舞子坂4-5-20
明石市大蔵町25-5
明石市新明町9-52
明石市松の内2-5-5 **New**
明石市大久保町松陰1111
明石市魚住町長坂寺715-1
明石市魚住町中尾345-1
明石市二見町福里549-1
加古川市平岡町一色74

全63会館(公益社41、葬仙12、タルイ10)

会社概要 2017(平成29)年3月31日現在

商 号 燦ホールディングス株式会社
 本社所在地 大阪本社
 〒530-0041
 大阪市北区天神橋4丁目6番39号
 東京本社
 〒107-0062
 東京都港区南青山1丁目1番1号
 新青山ビル西館14階

創 業 1932(昭和7)年8月

資 本 金 25億6,815万円

事 業 内 容 持株会社事業
 不動産事業
 管理業務受託事業

グループ会社 葬祭事業
 株式会社公益社 <首都圏・近畿圏>
 株式会社葬仙 <山陰地方>
 株式会社タライ <兵庫県南部>
 葬祭関連事業
 エクセル・サポート・サービス株式会社
 警備業および施設管理・清掃業・料理事業・葬祭事業

役員 2017(平成29)年6月27日現在

代表取締役社長 野呂 裕一	常勤監査役(社外) 内藤 光昭	常務執行役員 鈴江 敏一	執行役員 森 弘幸
代表取締役副社長 播島 聡	常 勤 監 査 役 秦 一 二 三	常務執行役員 大井 信三	執行役員 大西 健二
取 締 役 的 羽 元 司	監 査 役 (社 外) 高 橋 秀 彰	常務執行役員 池内 義彦	執行役員 築井 伸司
取 締 役 宮 島 康 子	監 査 役 (社 外) 田 村 茂	常務執行役員 山本 浩	執行役員 宮永 誠治
取 締 役 (社 外) 原 田 雅 俊		常務執行役員 小林 大介	執行役員 橋口 守
取 締 役 (社 外) 末 川 久 幸			

経営理念 2009(平成21)年4月2日制定

私たちは、大切な人との最期のお別れを
 尊厳あるかたちでお手伝いします。

そして、それにとどまらず、
 人生のマイナスからプラスへの
 ステップを支える最良のパートナーを目指します。

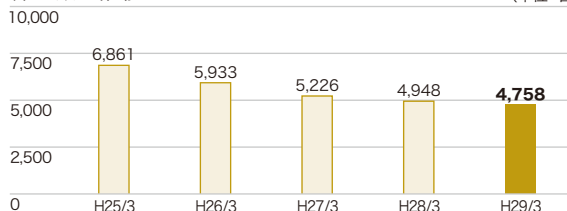
株式の状況 2017(平成29)年3月31日現在

発行可能株式総数 21,000,000株

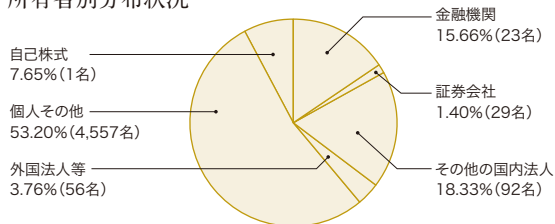
発行済株式の総数 6,082,008株

株主数の推移

(単位:名)



所有者別分布状況





<https://www.san-hd.co.jp>

当社はホームページにおきましても最新のトピックスをはじめとして、
IR 情報や会社情報など様々な情報をご案内しております。



燦ホールディングス株式会社
SAN HOLDINGS

株主メモ

証券コード / 9628
 事業年度 / 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 / 毎年6月
 基準日 / 定時株主総会 毎年3月31日
 / 期末配当金 毎年3月31日
 / 中間配当金 毎年9月30日 (その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。)

単元株式数 / 100株
 株主名簿管理人および / 〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 / 〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 / 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 / ☎0120-782-031
 インターネットホームページURL / <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
 公告方法 / 日本経済新聞に掲載します。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会
 は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設さ
 れていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】
 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されなかった株主様には、株主名
 簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。
 特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

※この冊子についてのお問い合わせは、下記IR専用電話番号までお願いいたします。

お問い合わせ先 IR担当 / TEL.06-6226-0038 FAX.06-6881-3340 ご提供資料 / 事業報告書(中間事業報告書) アニュアルレビュー Eメールアドレス / ir@san-hd.co.jp